

獨協医科大学 総合診療医学・総合診療科

志水 太郎 主任教授

【医局紹介】 当講座は2018年に発足し、「多面的な健康問題を抱える患者や、臓器の特定が困難な病態に悩む患者に真摯に向き合い、個々の健康状態の改善を図る」ことを理念として掲げています。当院は約1000床を有する高次医療機能を備えた病院でありながら、市中病院のように多彩な急性期・慢性期の症例を経験できる大学病院です。当科では、救急・外来・病棟の完全型の総合診療を提供しています。当院受診の内科救急患者の2/3に対応し、診断困難症例への対応、病棟コンサルト、感染症内科的役割として抗菌薬選択やそのフォローアップを担っています。

【専門研修プログラム】 当科の後期研修プログラムでは、「修了後にはあらゆる臨床現場において単独で対応可能な総合力の習得」を最終的なアウトカムとしています。Common Diseaseから希少疾患までの幅広い症例経験を、外来・救急・病棟といった各現場でバランスよく積むことができる点が大きな特長です。プログラムには「総合内科医コース」と「総合診療医コース」があります。総合内科医コースでは、世界標準の内科診療、診断思考力、問題解決力、身体診察技術を中心とした臨床スキルの習得を重視します。一方、総合診療医コースでは、日本の家庭医療における先駆的機関である北海道家庭医療学センターにおいて1年間の研修を行い、外来診療、訪問診療、地域包括ケアといった多様なセッティングでの実践的トレーニングを積むことが可能です。同時に、その後の多様なキャリアプランに対応できる縦断的なキャリア・スキルのサポートを行っています。

【教育体制】 当科が重視するのは、単なる知識伝達ではなく、「能動的な思考運用」を行う教育手法です。日々の外来・救急・病棟診療において、層の厚い指導医によるリアルタイムでの振り返りを実施しています。柔軟な思考力、コミュニケーション力、共感



力、リーダーシップ、レジリエンス、交渉力など、多面的スキルを臨床現場で徹底的に鍛える環境を整えています。

【QOL】 充実した学びの基盤には高水準のQOLが担保されています。知識の共有はオンラインで行い、休日の呼び出しはなく、当直明けは即帰宅することができます。また、産休・育休も積極的に推奨しています。大学病院ならではの安定した給与体系と、心理的安全性に配慮したチーム運営により、オンとオフを明確に区別した勤務環境を提供しています。

【研究】 2018年の講座設立以来、当科は診断学およびAIを活用した研究において世界をリードする立場です。医局員が関与する英語論文の投稿数は年間50本を超え、継続的な成果を挙げています。国内・海外の学会で発表するための指導体制も手厚いです。

【最後に】 「救急外来や急性期の外来・病棟診療」、「診断困難なケースへの対応」、「感染症診療」を通じて培われる標準対応力・診断力・感染症対応力——これらを3年間で飛躍的に向上させる環境が、ここ獨協総診にはあります。修了後にはどのような現場でも自立して診療できる真の総合力を身に付けることができます。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

文責：林 有紗



DATA

獨協医科大学
総合診療医学・総合診療科

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880

E-Mail : dokkyotiger@gmail.com



HPはこちら

医局員… 22人

指導医… 10人

専攻医… 12人

全国の医局情報を
Pick Up

全ての現場で戦える力を、
ここで。